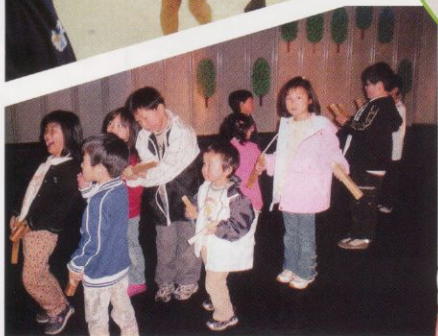
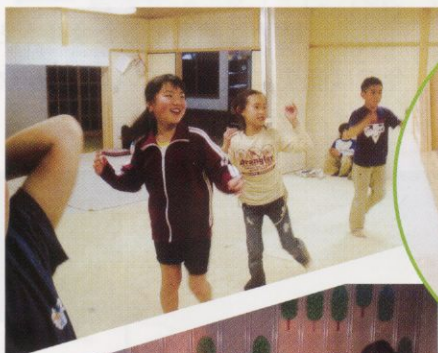




足尾まつり

足尾まつりは、明治22年に銅の生産や山の安全を祈る山神社へ奉納する山神祭として始まり、昭和48年の閉山以降、空白期間をおき、昭和52年に足尾まつりとして再開されました。来年は山神祭が始まって、120年目になります。今からどんなおまつりになるのか楽しみです。



〈練習風景〉

にぎやかだったころの足尾まつり (昭和22年)

日本の近代化を支えたといわれる足尾銅山で盛大に行われていた山神祭。

そのお祭りを、規模は小さいながらも受け継ぎ、参加できる幸せと、次の世代に渡す責任を、改めて感じます。



山間地で娯楽に乏しい足尾銅山では、季節ごとに町を挙げてのお祭りで大変な賑わいを見せました。(写真は足尾町閉町記念「足尾博物誌」より)